

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 103

2016年6月20日発行 通巻No.113号

創刊2007年2月27日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井 1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

FAX : 03-6303-8265 (FAX専用 受信は24時間対応できます。)

MAIL : npokouken@gmail.com HP : <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆被後見人、ご逝去◆

ご冥福をお祈りします。

本会が受任している成年後見人等(成年後見人・保佐人・補助人)のうち累計31番目の成年被後見人になる女性(83歳)が5月27日に入院中の病院で逝去されました。その前日に、約50年間同居していた義妹(やはり当会が受任している32番目の成年被後見人)がお見舞いに行っており、お二人で見つめ合っていたのがとても印象的でした。

6月2日に行われた葬儀には、愛知県から妹さん夫婦や仲良くしていた知人の皆さんが10名近く参列し、別れを惜しんでいました。

合同供養碑に納骨される予定です。

◆18柱を合同供養◆

帰命山養玉院如来寺(品川区西大井5-22-25)に完成した合同供養碑(本紙100号で既報)で4月25日、初の納骨が行われ、本会関係2柱を含め計18柱が納骨されました。住職の読経の中、本会会員5人ら参列者が次々に合掌、故人の冥福を祈りました。

この合同墓は、品川区内で後見人活動を進めている団体、個人が関与し、引き取り手がない遺骨を埋葬するために造られ、「成魂の碑」=写真・右の像=と名付けられています。



◆平成 28 年度定期通常総会が終了◆

5月29日、平成28年度通常総会を開催しました。正会員数82名のうち出席者52名（これは今までで一番多い数です）、書面出席者16名、計68名の参加でした。

総会司会の小松統会員の挨拶に続き、古賀忠壹理事長が議長に選出され議事が始まりました。

大岡朋子理事により第1号議案「平成27年度事業報告（案）」、第2号議案「平成27年度決算報告（案）」の説明が行われ、高原三平監事により監査報告がなされ、全員一致で承認されました。続いて同理事より第3号議案「平成28年度事業計画（案）」、第4号議案「平成28年度収支予算（案）」の説明がなされ、両議案とも全員一致で承認されました。最後に第5号議案として任期満了に伴う役員改選の説明がなされ、全員一致で承認され総会は終了しました。

総会終了後の茶話会=写真=では、今年新たに私たちの仲間になられた新会員6名の方たちの自己紹介が行われ、和やかな雰囲気のもと会員相互の交流が行われ、無事この日の事業すべてが終了しました。



◆事務局長に就任して◆

NPO 法人市民後見人の会 理事(事務局長)・高原三平

「少子・高齢化」が叫ばれて久しい。団塊世代の私が 50 歳のころ、街でも、電車の中でも、はたまた山歩きでも高齢の方が多いと感じたことがありました。そしてその時、このまま年月が経過したら、世の中は一体どうなるのかと、不安が頭をかすめた。それが、「福祉」に携わるきっかけでした。

「元気な年寄りが、元気でない年寄りの力になる。年寄り世代での完結」が私のテーマとなりました。その具現化が、NPO 法人市民後見人の会での活動です。今から 6 年前でした。ここでの活動は、サラリーマン時代よりむしろ、社会との接点は多いのではないかと思うと同時に、正直、そんなに軽い業務でないと感じました。それは、生きがい、やりがいに通じましたが、精神的な負担も少なからずあると思われました。

さてこの度、事務局に関わることになりました。現在、会員数は 88 名（賛助会員 6 名を含む）です。会員一人ひとりが、会の「理念」に対して向き合っていると考えると、改めて身の引き締まる思いがします。本会は、NPO 法人として 8 年間、32 名の方々の後見人を実践してきました。今まで特に大きなトラブルもなく順調にやってこられたのは、先輩諸氏の並々ならぬ英知が結集された結果だと確信しております。

私は、会の今までの経験を生かしながら、一人でも多くの会員が活躍できる土壌作りができればと考えます。二つの目標を掲げます。『一歩前進』と『楽しい仲間』です。

「一歩前進」は、身の丈に合った活動を基本としたいと思いますが、ちょっとだけ改善・改革気分を忘れないようにしたい、また、「楽しい仲間」は、苦楽を共にできる仲間でありたいということです。

私は山登りが好きで長年続けていますが、そこで思うことも同じです。自分たちの実力を見極めないと、また仲間を信頼しないと遭難につながります。

楽しい仲間を増やして、年寄りの力となれる月日を一日でも長くやれたらと思います。

どうか、よろしく願いいたします。



ネパール・エヴェレスト街道にて

通常総会が、会員相互の親睦をはかることも出来、無事終了しました。これを機に、本会の目的である「認知症になっても安心して生活できる社会」の構築を進める運動をさらに前進させて行きましょう。

(編集 金城 清)